

## 連合岩手県北地域協議会第9回定期大会開催

連合岩手県北地域協議会の第9回定期大会は11月26日の夕方6時30分から二戸シビックセンターで開催しました。

提案した運動方針1・すべての働く仲間を守り、つなぐための集団的労使関係の追及と、社会に広がりのある運動の推進 2・安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進 3・ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現 4・社会連帯を通じた平和、人権、社会貢献への取り組みと次世代への継承 5・健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進 6・連合岩手と地協の連携で、人材育成と労働教育の推進 7・会計管理体制の強化の全議案に対し承認を受けました。



県北地域協議会議長の中田茂（JP労組）からは、コロナ禍による貧困の拡大と生活支援、雇用の確保、さらに子供への虐待や介護等については家庭内だけの解決は難しく、私たちが自分のこととして考え身近にできる「きっかけづくり」にも取り組んでいきたいと挨拶しました。

連合岩手事務局長の鈴木圭様からは衆議院選挙および一戸町長・議員選挙への御礼と連合運動の変革として労働相談の実施方法や組織拡大への方向性について説明がありました。また、昨年発覚した不正経理事案についての報告を行い、連合岩手の2022年度の活動等についてご挨拶をいただきました。



大会議長 熊谷沙織さん  
東京銀座ファッション  
ユニオン



大会アピール提案  
青年委員長 川崎佳久さん  
JP労組県北支部



今大会で幹事を退任された  
後藤直樹さん  
東北電労二戸支部



新たに幹事に選出され  
た新谷亮太さん  
東北電労二戸支部

### 《 2022年度 政策制度要請行動！ 》

今年も連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」を構築するため、久慈市、二戸市、一戸町に対し、新型コロナウイルス感染症に関する対策を始め、労働者施策、社会福祉と保管医療の拡充、教育の拡充など7項目を要請しました。また、青年委員会の「ワークショップ」で若者が地域に望むことを話し合った内容を補足資料として二戸市と一戸町に提出しました。

村田順副議長（左）  
久慈市の遠藤譲一市長（右）



中田茂議長（左）  
二戸市の藤原淳市長（右）



一戸町の小野寺美登町長（左）  
坂本敏美事務局長（右）

